

川の変化

下水道ができて、多摩川はどのように変わったのだろうか？

下水道がまだあまりふきゅうしていなかった約50年前、川はとてもよごれており、それが原因でいろいろな問題がありました。

下水道が整備されたことで、川はきれいになり、私たちのくらしは快適になりました。

下水道ができる前の多摩川

街中にはドブ（道路わきのよごれがたまったみぞ）があり、いやなにおいがしたり、カやハエが発生していた。

大雨が降ると、街が水びたしになっていた。



50年前

家庭や工場などから出たよごれた水がそのまま川に流れこみ、川がよごれていた。

川がよごれてしまったことで、アユがいなくなりましたよ



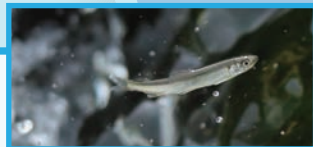
下水道ができた後の多摩川

街中にドブはなくなり、いやなにおいや、カやハエの発生がなくなった。

大雨が降っても、街中が水びたしにならなくなった。



今



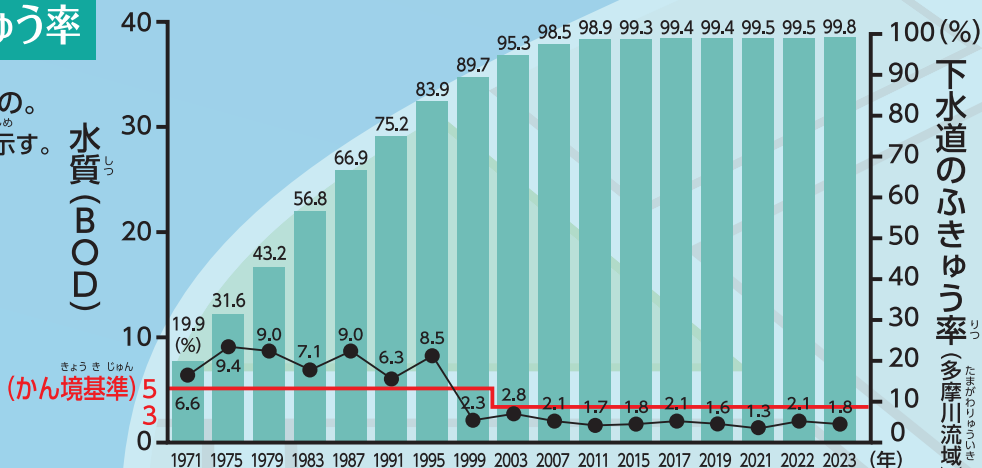
▲多摩川に戻ってきたアユ

家庭や工場などから出たよごれた水が水再生センターできれいな水となって川に返され、生き物のたくさんいるきれいな川がよみがえった。

多摩川の水質と下水道ふきゅう率

*BODとは、水のよごれ具合を示すもの。
数値が低いほど水がきれいであることを示す。

*ふきゅうとは、広く行きわたること



世界の水かん境はどのようになっているのでしょうか？

